

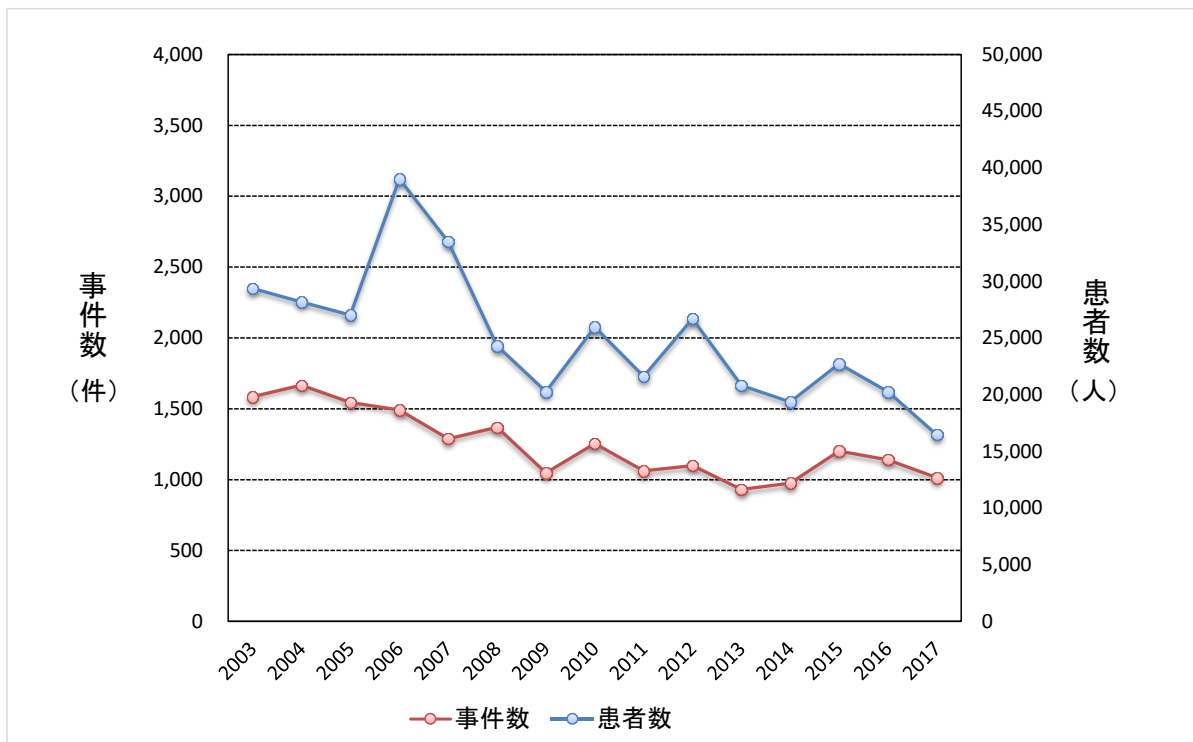


## 1. 全国食中毒の事件数と患者数の推移

2003年～2017年の15年間の全国における食中毒の発生状況をみると、事件数は、年によって変動はありますが、2009年以降は931～1,254件の間で上下しています。2015年以降は減少傾向が見られますが、2017年は、もっとも事件件数の少なかった2013年(931件)に比べて83件多く発生しています。

患者数は、ノロウイルスが猛威を振るった2006年に約39,000人発生しましたが、2008年以降は増減を繰り返し、2015年以降は減少傾向が見られます。2017年は16,464人と、この15年間でもっとも患者数の少ない年となりました。

### 最近15年間の全国の食中毒の事件数と患者数の推移



	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
事件数(件)	1,585	1,666	1,545	1,491	1,289	1,369	1,048	1,254	1,062	1,100	931	976	1,202	1,140	1,014
患者数(人)	29,355	28,175	27,019	39,026	33,477	24,303	20,249	25,972	21,616	26,699	20,802	19,355	22,718	20,253	16,464

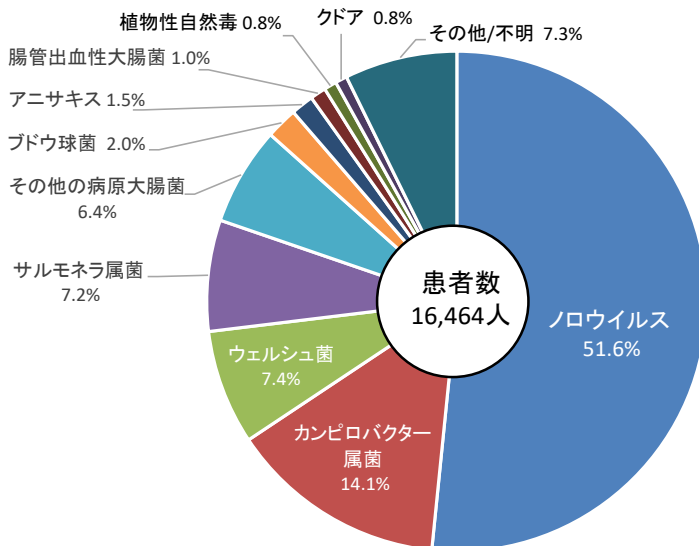
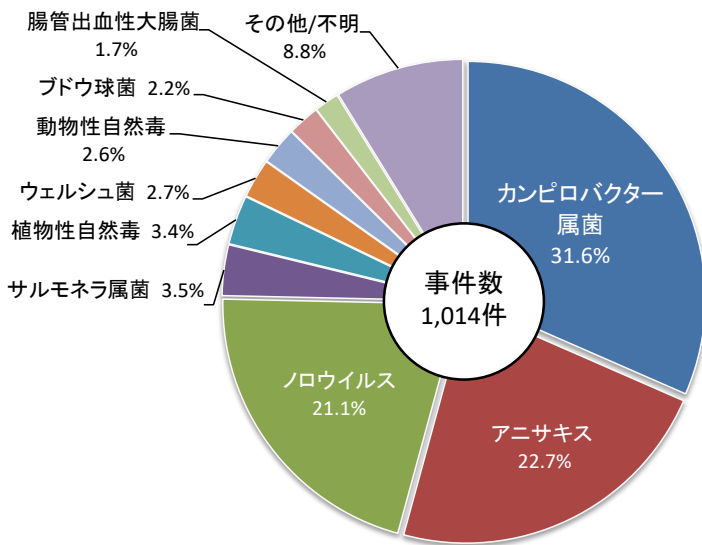


## 2. 病因物質別の食中毒発生状況(2017年)

2017年の病因物質別の食中毒発生状況を見ますと、事件数は、カンピロバクター属菌が320件で最も多く、次いでアニサキスが230件、ノロウイルスが214件で3番目に多く発生しました。カンピロバクター属菌、アニサキス、ノロウイルスで全体約75%を占めています。

患者数はノロウイルスが8,496人で全体の51.6%を占めています。カンピロバクター属菌による患者数が2,315人と2番目に多く、ウェルシュ菌による患者数が1,220人と3番目でした。

最近3年間の事件数、患者数の推移は次頁をご参照ください。



### 3. 最近3年間の病因物質別の食中毒発生件数の推移

病因物質別食中毒発生件数(事件数)

病因物質	2017年		2016年		2015年	
	事件数	構成比	事件数	構成比	事件数	構成比
カンピロバクター属菌	320	31.6%	339	29.7%	318	26.5%
アニサキス	230	22.7%	124	10.9%	127	10.6%
ノロウイルス	214	21.1%	354	31.1%	481	40.0%
サルモネラ属菌	35	3.5%	31	2.7%	24	2.0%
植物性自然毒	34	3.4%	77	6.8%	58	4.8%
ウェルシュ菌	27	2.7%	31	2.7%	21	1.7%
動物性自然毒	26	2.6%	32	2.8%	38	3.2%
ブドウ球菌	22	2.2%	36	3.2%	33	2.7%
腸管出血性大腸菌	17	1.7%	15	1.3%	17	1.4%
クドア	12	1.2%	22	1.9%	17	1.4%
その他の病原大腸菌	11	1.1%	6	0.5%	6	0.5%
化学物質	9	0.9%	17	1.5%	14	1.2%
腸炎ビブリオ	7	0.7%	12	1.1%	3	0.2%
セレウス菌	5	0.5%	9	0.8%	6	0.5%
その他/不明	45	4.4%	35	3.1%	39	3.2%
計	1,014	100.0%	1,140	100.0%	1,202	100.0%

病因物質別食中毒発生件数(患者数)

病因物質	2017年		2016年		2015年	
	患者数	構成比	患者数	構成比	患者数	構成比
ノロウイルス	8,496	51.6%	11,397	56.3%	14,876	65.5%
カンピロバクター属菌	2,315	14.1%	3,272	16.2%	2,089	9.2%
ウェルシュ菌	1,220	7.4%	1,411	7.0%	551	2.4%
サルモネラ属菌	1,183	7.2%	704	3.5%	1,918	8.4%
その他の病原大腸菌	1,046	6.4%	569	2.8%	362	1.6%
ブドウ球菌	336	2.0%	698	3.4%	619	2.7%
アニサキス	242	1.5%	126	0.6%	133	0.6%
腸管出血性大腸菌	168	1.0%	253	1.2%	156	0.7%
植物性自然毒	134	0.8%	229	1.1%	178	0.8%
クドア	126	0.8%	259	1.3%	169	0.7%
腸炎ビブリオ	97	0.6%	240	1.2%	224	1.0%
化学物質	76	0.5%	297	1.5%	410	1.8%
動物性自然毒	42	0.3%	73	0.4%	69	0.3%
セレウス菌	38	0.2%	125	0.6%	95	0.4%
その他/不明	945	5.7%	600	3.0%	869	3.8%
計	16,464	100.0%	20,253	100.0%	22,718	100.0%

#### 4. 原因施設別の食中毒発生件数

原因施設	事件数	構成比
飲食店	598	59.0%
家庭	100	9.9%
販売店	48	4.7%
旅館	39	3.8%
仕出屋	38	3.7%
学校	28	2.8%
事業場	23	2.3%
製造所	8	0.8%
病院	6	0.6%
その他/不明	126	12.4%
計	1,014	100.0%

原因施設	患者数	構成比
飲食店	8,007	48.6%
学校	2,675	16.2%
旅館	1,852	11.2%
仕出屋	1,605	9.7%
事業場	623	3.8%
病院	332	2.0%
家庭	179	1.1%
製造所	164	1.0%
販売店	85	0.5%
その他/不明	942	5.7%
計	16,464	100.0%

※本資料は厚生労働省ホームページに掲載されている食中毒統計調査資料のデータを編集したものです。元となるデータは次のURLをご参照ください。

<http://www.mhlw.go.jp/toukei/list/112-1.html>